

# 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	ビジネスマナー検定対策Ⅲ			単位数	授業の種類	作成者			
				8	講義・演習・実習	大場章市			
授業回数	60	時間数	120	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期	必修・選択	必修
目 的	ビジネススキル習得を目的として、ビジネスマナーの基本とビジネス文書の書き方を身につける。その上で、実践問題により理解を深め、実践で活用できるマナーを習得する。また、自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提に、ビジネス常識及び基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身に付けておくべき知識を評価する検定試験合格を目指す。								
到 達 基 準	①ビジネスマナーとコミュニケーションの基本を理解する。 ②仕事に対する意識と基本マナーを身につける。 ④ビジネス能力検定ジョブパス2級、ビジネスマナー検定2級合格。 ③ビジネスにおける慣例、公式行事でのマナーを身につける。								
教育の進め方									
回数	教 育 内 容								
1	ビジネス能力検定ジョブパス試験概要								
2	社会人・職業人としてスタートするにあたって								
3	<第1編> 第1章 キャリアと仕事へのアプローチ								
4	第2章 会社活動の基本①								
5	第2章 会社活動の基本②								
6	第3章 話し方と聞き方のポイント①								
7	第3章 話し方と聞き方のポイント②								
8	第4章 接客と営業の進め方①								
9	第4章 接客と営業の進め方②								
10	第5章 不満を信頼に変えるクレーム対応①								
11	第5章 不満を信頼に変えるクレーム対応②								
12	第6章 会場への出席とプレゼンテーション①								
13	第6章 会場への出席とプレゼンテーション②								
14	第7章 チームワークとネットワーク①								
15	第7章 チームワークとネットワーク②								
教 材	書籍名	ビジネス能力検定ジョブパス2級							
	器材								
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								
授業以外の学習方法									

# 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	ビジネスマナー検定対策Ⅲ			単位数	授業の種類	作成者	
				8	講義 演習・実習	大場章市	
授業回数	60	時間数	120	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期 必修・選択 必修
目 的	ビジネススキル習得を目的として、ビジネスマナーの基本とビジネス文書の書き方をみにつける。その上で、実践問題により理解を深め、実践で活用できるマナーを習得する。また、自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提に、ビジネス常識及び基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身に手けておくべき知識を評価する検定試験合格を目指す。						
到 達 基 準	①ビジネスマナーとコミュニケーションの基本を理解する。 ②仕事に対する意識と基本マナーを身につける。 ③ビジネス能力検定ジョブパス2級、ビジネスマナー検定2級合格。 ④ビジネスにおける慣例、公式行事でのマナーを身につける。						
教育の進め方							
回数	教 育 内 容						
16	<第2編> 第1章 仕事の進め方①						
17	第1章 仕事の進め方②						
18	第2章 ビジネス文章の基本①						
19	第3章 統計・データの読み方、まとめ方①						
20	第3章 統計・データの読み方、まとめ方②						
21	第4章 情報収集とメディアの活用						
22	第5章 会社数字の読み方						
23	第6章 ビジネスと法律・税金①						
24	第6章 ビジネスと法律・税金②						
25	第7章 産業と経済の基礎知識						
26	社会で活躍するために必要な知識						
27	ビジネス用語の基本						
28	<演習問題①>第1章 キャリアと仕事へのアプローチ						
29	第2章 会社活動の基本						
30	第3章 話し方と聞き方のポイント						
教 材	書 籍 名	ビジネス能力検定ジョブパス2級					
	器 材						
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。						
授業以外の学習方法							

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	ビジネスマナー検定対策Ⅲ			単位数	授業の種類	作成者			
				8	講義 演習・実習	大場章市			
授業回数	60	時間数	120	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期	必修・選択	必修
目 的	ビジネススキル習得を目的として、ビジネスマナーの基本とビジネス文書の書き方をみにつける。その上で、実践問題により理解を深め、実践で活用できるマナーを習得する。また、自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提に、ビジネス常識及び基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身に手けておくべき知識を評価する検定試験合格を目指す。								
到 達 基 準	①ビジネスマナーとコミュニケーションの基本を理解する。 ②仕事に対する意識と基本マナーを身につける。 ③ビジネス能力検定ジョブパス2級、ビジネスマナー検定2級合格。 ④ビジネスにおける慣例、公式行事でのマナーを身につける。								
教育の進め方									
回数	教 育 内 容								
31	第4章 接客と営業の進め方								
32	第5章 不満を信頼に変えるクレーム対応								
33	第6章 会議への出席とプレゼンテーション								
34	第7章 チームワークと人のネットワーク								
35	＜演習問題②＞第1章 仕事の進め方								
36	第2章 ビジネス文書の基本								
37	第3章 統計・データの読み方、まとめ方								
38	第4章 情報収集とメディアの活用								
39	第5章 会社数字の読み方								
40	第6章 ビジネスと法律・税金知識								
41	第7章 産業と経済の基礎知識								
42	確認問題①								
43	確認問題②								
44	確認問題③								
45	確認問題④								
教 材	書籍名	ビジネス能力検定ジョブパス2級							
	器材								
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								
授業以外の学習方法									

# 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	ビジネスマナー検定対策Ⅲ			単位数	授業の種類	作成者	
				8	講義 演習・実習	大場章市	
授業回数	60	時間数	120	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期 必修・選択 必修
目 的	ビジネススキル習得を目的として、ビジネスマナーの基本とビジネス文書の書き方をみにつける。その上で、実践問題により理解を深め、実践で活用できるマナーを習得する。また、自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提に、ビジネス常識及び基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身に手けておくべき知識を評価する検定試験合格を目指す。						
到 達 基 準	①ビジネスマナーとコミュニケーションの基本を理解する。 ②仕事に対する意識と基本マナーを身につける。 ④ビジネス能力検定ジョブパス2級、ビジネスマナー検定2級合格。 ③ビジネスにおける慣例、公式行事でのマナーを身につける。						
教育の進め方							
回数	教 育 内 容						
46	過去の試験問題 (3級)					演習	
47	過去の試験問題 (3級)					演習	
48	過去の試験問題 (3級)					演習	
49	過去の試験問題 (3級)					演習	
50	過去の試験問題 (3級)					演習	
51	過去の試験問題 (2級)					演習	
52	過去の試験問題 (2級)					演習	
53	過去の試験問題 (2級)					演習	
54	過去の試験問題 (2級)					演習	
55	過去の試験問題 (2級)					演習	
56	過去の試験問題 (2級)					演習	
57	過去の試験問題 (2級)					演習	
58	過去の試験問題 (2級)					演習	
59	過去の試験問題 (2級)					演習	
60	過去の試験問題 (2級)					演習	
教 材	書籍名	ビジネス能力検定ジョブパス2級					
	器材						
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。						
授業以外の学習方法							

# 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	コミュニケーション論Ⅱ			単位数	授業の種類			講師名	
				4	講義・演習・実習			川端 土筆	
授業回数	30	時間数	60	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期	必修・選択	必修
目 的	日本の文化社会学、心理学的要素を含む表現から日常生活で繰り返されるシーンを文、グラフ、発話等で理解し、コミュニケーション能力を上達させる。								
到 達 基 準	日本語能力試験合格N2/N3								
教育の 進め方	動機付け、大意取り、応用、重要表現、文法・語彙の流れののち、ワークブックで確認し能力アップしていく。シャドーイングは20分の帯で行う。実践指導は適宜行う。								
回数	教 育 内 容								
1	前年度復習/授業内容ガイダンス								
2	U n i t 3 - 3 個人面接(志望動機)①								
3	U n i t 3 - 3 個人面接(志望動機)②								
4	U n i t 3 - 3 個人面接(志望動機)③								
5	U n i t 3 - 3 個人面接(志望動機)④								
6	U n i t 3 - 3 個人面接(志望動機)⑤								
7	U n i t 3 - 3 個人面接(志望動機)⑥								
8	U n i t 3 - 3 個人面接(志望動機)⑦								
9	U n i t 3 - 3 個人面接(志望動機)⑧								
10	U n i t 3 - 3 個人面接(志望動機)⑨								
11	U n i t 3 - 3 個人面接(志望動機)⑩								
12	U n i t 3 - 3 個人面接(志望動機)⑪								
13	U n i t 3 - 3 個人面接(志望動機)⑫								
14	章まとめ U n i t 3 - 3 個人面接(志望動機)								
15	小テスト U n i t 3 - 3 個人面接(志望動機)								
教 材	書籍名	Shadowing 日本語を話そう 就職・アルバイト・進学面接編							
	器材	CD パワーポイント							
評 価	学年末において、前期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し評価とする。								
授業以外の学習方法	ディベート ディスカッション								

# 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	コミュニケーション論Ⅱ			単位数	授業の種類			講師名	
				4	講義・演習・実習			川端 土筆	
授業回数	30	時間数	60	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期	必修・選択	必修
目 的	日本の文化社会学、心理学的要素を含む表現から日常生活で繰り返されるシーンを文、グラフ、発話等で理解し、コミュニケーション能力を上達させる。								
到 達 基 準	日本語能力試験合格N2/N3								
教育の進め方	動機付け、大意取り、応用、重要表現、文法・語彙の流れののち、ワークブックで確認し能力アップしていく。シャドーイングは20分の帯で行う。実践指導は適宜行う。								
回数	教 育 内 容								
16	U n i t 3 - 4 個人面接(通し練習)①								
17	U n i t 3 - 4 個人面接(通し練習)②								
18	U n i t 3 - 4 個人面接(通し練習)③								
19	U n i t 3 - 4 個人面接(通し練習)④								
20	U n i t 3 - 4 個人面接(通し練習)⑤								
21	U n i t 3 - 4 個人面接(通し練習)⑥								
22	U n i t 3 - 4 個人面接(通し練習)⑦								
23	U n i t 3 - 4 個人面接(通し練習)⑧								
24	U n i t 3 - 4 個人面接(通し練習)⑨								
25	U n i t 3 - 4 個人面接(通し練習)⑩								
26	U n i t 3 - 4 個人面接(通し練習)⑪								
27	U n i t 3 - 4 個人面接(通し練習)⑫								
28	章まとめ U n i t 3 - 4 個人面接(通し練習)								
29	小テスト U n i t 3 - 4 個人面接(通し練習)								
30	定期試験								
教 材	書籍名	Shadowing 日本語を話そう 就職・アルバイト・進学面接編							
	器材	CD パワーポイント							
評 価	学年末において、前期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し評価とする。								
授業以外の学習方法	ディベート ディスカッション								

# 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	コミュニケーション論Ⅲ			単位数	授業の種類		講師名
				8	講義・演習・実習		川端 土筆
授業回数	60	時間数	120	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期
							必修・選択
必修	必修						
目 的	日本の文化社会学、心理学的要素を含む表現から日常生活で繰り返されるシーンを文、グラフ、発話等で理解し、コミュニケーション能力を上達させる。						
到 達 基 準	日本語教育検定試験合格/日本語能力試験合格N1						
教育の 進め方	動機付け、大意取り、応用、重要表現、文法・語彙の流れののち、ワークブックで確認し能力アップしていく。シャドーイングは20分の帯で行う。実践指導は適宜行う。						
回数	教 育 内 容						
1	前年度復習/前期授業内容ガイダンス						
2	主観を含めて説明する1 逆説①						
3	主観を含めて説明する1 逆説②						
4	主観を含めて説明する1 逆説③						
5	主観を含めて説明する1 逆説④						
6	主観を含めて説明する1 条件①						
7	主観を含めて説明する1 条件②						
8	主観を含めて説明する1 条件③						
9	主観を含めて説明する1 条件④						
10	主観を含めて説明する1 逆接条件①						
11	主観を含めて説明する1 逆接条件②						
12	主観を含めて説明する1 逆接条件③						
13	主観を含めて説明する1 逆接条件④						
14	主観を含めて説明する1 目的・手段①						
15	主観を含めて説明する1 目的・手段②						
教 材	書 籍 名	参考図書：新完全マスター 文法 日本語能力試験N1					
	器 材	CD パワーポイント					
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し評価とする。						
授業以外の学習方法	ディベート						

# 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	コミュニケーション論Ⅲ			単位数	授業の種類		講師名		
				8	講義・演習・実習	川端 土筆			
授業回数	60	時間数	120	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期	必修・選択	必修
目 的	日本の文化社会学、心理学的要素を含む表現から日常生活で繰り返されるシーンを文、グラフ、発話等で理解し、コミュニケーション能力を上達させる。								
到 達 基 準	日本語教育検定試験合格/日本語能力試験合格N1								
教育の進め方	動機付け、大意取り、応用、重要表現、文法・語彙の流れののち、ワークブックで確認し能力アップしていく。シャドーイングは20分の帯で行う。実践指導は適宜行う。								
回数	教 育 内 容								
16	主観を含めて説明する 1 目的・手段③								
17	主観を含めて説明する 1 目的・手段④								
18	主観を含めて説明する 1 原因・理由①								
19	主観を含めて説明する 1 原因・理由②								
20	主観を含めて説明する 1 原因・理由③								
21	主観を含めて説明する 1 原因・理由④								
22	章まとめ 主観を含めて説明する 1								
23	主観を含めて説明する 2 比較対象①								
24	主観を含めて説明する 2 比較対象②								
25	主観を含めて説明する 2 比較対象③								
26	主観を含めて説明する 2 結末・最終の状態①								
27	主観を含めて説明する 2 結末・最終の状態②								
28	主観を含めて説明する 2 結末・最終の状態③								
29	前期まとめ/試験対策								
30	前期試験								
教 材	書籍名	参考図書：新完全マスター 文法 日本語能力試験 N 1							
	器材	CD パワーポイント							
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し評価とする。								
授業以外の学習方法	ディベート								

# 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	コミュニケーション論Ⅲ			単位数	授業の種類		講師名		
				8	講義・演習・実習		川端 土筆		
授業回数	60	時間数	120	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期	必修・選択	必修
目 的	日本の文化社会学、心理学的要素を含む表現から日常生活で繰り返されるシーンを文、グラフ、発話等で理解し、コミュニケーション能力を上達させる。								
到 達 基 準	日本語教育検定試験合格/日本語能力試験合格N1								
教育の 進め方	動機付け、大意取り、応用、重要表現、文法・語彙の流れののち、ワークブックで確認し能力アップしていく。シャドーイングは20分の帯で行う。実践指導は適宜行う。								
回数	教 育 内 容								
31	前期復習/後期授業内容ガイダンス								
32	主観を含めて説明する2 可能・不可能・禁止①								
33	主観を含めて説明する2 可能・不可能・禁止②								
34	主観を含めて説明する2 可能・不可能・禁止③								
35	主観を含めて説明する2 可能・不可能・禁止④								
36	主観を含めて説明する2 話題・評価の基準①								
37	主観を含めて説明する2 話題・評価の基準②								
38	主観を含めて説明する2 話題・評価の基準③								
39	主観を含めて説明する2 話題・評価の基準④								
40	主観を含めて説明する2 強調①								
41	主観を含めて説明する2 強調②								
42	主観を含めて説明する2 強調③								
43	主観を含めて説明する2 強調④								
44	章まとめ 主観を含めて説明する2								
45	主観を述べる 主張・断定①								
教 材	書 籍 名	参考図書：新完全マスター 文法 日本語能力試験N1							
	器 材	CD パワーポイント							
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し評価とする。								
授業以外の学習方法	ディベート								

# 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	コミュニケーション論Ⅲ			単位数	授業の種類			講師名	
				8	講義・演習・実習			川端 土筆	
授業回数	60	時間数	120	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期	必修・選択	必修
目 的	日本の文化社会学、心理学的要素を含む表現から日常生活で繰り返されるシーンを文、グラフ、発話等で理解し、コミュニケーション能力を上達させる。								
到 達 基 準	日本語教育検定試験合格/日本語能力試験合格N1								
教育の 進め方	動機付け、大意取り、応用、重要表現、文法・語彙の流れののち、ワークブックで確認し能力アップしていく。シャドーイングは20分の帯で行う。実践指導は適宜行う。								
回数	教 育 内 容								
46	主観を述べる 主張・断定②								
47	主観を述べる 主張・断定③								
48	主観を述べる 評価・感想①								
49	主観を述べる 評価・感想②								
50	主観を述べる 評価・感想③								
51	主観を述べる 心情・強制的思い①								
52	主観を述べる 心情・強制的思い②								
53	主観を述べる 心情・強制的思い③								
54	章まとめ 主観を述べる								
55	文法形式の整理 動詞の意味に着目								
56	文法形式の整理 古い言葉を使った言い方/「もの・こと・ところ」を使った言い方								
57	文法形式の整理 二つの言葉を組にする言い方								
58	文法形式の整理 助詞・複合助詞/文法的性質の整理								
59	章まとめ 文法形式の整理								
60	後期試験								
教 材	書籍名	参考図書：新完全マスター 文法 日本語能力試験N1							
	器材	CD パワーポイント							
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し評価とする。								
授業以外の学習方法	ディベート								

# 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	キャリアデザイン			単位数	授業の種類	講師名
		30	時間数: 60	配当学年	4	講義・演習・実習
授業回数	30	時間数: 60	配当学年	3	時期: 通年・前期・中期・後期	必修・選択: 必修
目 的	様々な媒体を通して企業研究を行う。そのうえで自分に合った業界・業種を知り、履歴書やエントリーシート添削、模擬面接、髪型や服装に対する指導を行う。また、効果的な話し方講座や企業ガイダンス等を通して、一人ひとりに合わせたきめ細かい対応をしていく。					
到 達 基 準	①企業研究の方法として、どのような媒体から、どのような情報を入手するべきかを、実際に自分が希望する業界、企業について調べる力を身につける。 ②エントリーシートの書き方、面接のポイントを指摘し、実際の面接のロールプレイングをして、就職活動を強く意識させる。					
教育の進め方	基本的にはシラバスに従って進めるが、時期によって学校行事に伴った内容変更も実施する。					
回数	教 育 内 容					
1	イントロダクション～なぜキャリアをデザインする必要があるのか					
2	職業の世界・働くことの意義～働くことについての考え方を比較しながら職業観と社会に役立つための視点を考える					
3	業種と職種～職業選択において業種や職種を考慮する必要性					
4	チームの中の個人（1）～チームになって協力して答えを見つけていくための方法と、その中での自分の行動					
5	キャリアの心理学～自分のキャリアをデザインするうえで参考となるキャリアに関する考え方					
6	人の特性を考える～対人行動やその背景にある動機を知る手がかりとなる心理学の考え方					
7	チームの中の個人（2）～前回のチーム活動をふまえて、目的に合わせてチーム活動をうまくするための工夫					
8	職場の心理学（1）～働く人の仕事や組織への適応プロセスと仕事の満足や組織に対する信頼形成					
9	キャリアとストレス～ストレスの発生や促進要因とストレス対処について					
10	職場の心理学（2）～ワークを通じて公平感と職場運営について考える					
11	職場や仕事の理解（1）～事例を入れながら理解のための方法を学び、それぞれの企業の共通点と差異点を考える					
12	職場や仕事の理解（2）～企業や団体等について、どのような情報が入手でき、何が入手しにくいのか					
13	表現のスキル～プレゼンテーションと説得行動					
14	前期まとめ					
15	前期試験					
教 材	書籍名	特になし。レジュメや配布資料をもとに授業を行う。				
	器材					
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。					
授業以外の学習方法						

# 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	キャリアデザイン			単位数	授業の種類	講師名		
	授業回数	30	時間数	60	配当学年	3	時期	講義・演習・実習
目的	様々な媒体を通して企業研究を行う。そのうえで自分に合った業界・業種を知り、履歴書やエントリーシート添削、模擬面接、髪型や服装に対する指導を行う。また、効果的な話し方講座や企業ガイダンス等を通して、一人ひとりに合わせたきめ細かい対応をしていく。							
到達基準	①企業研究の方法として、どのような媒体から、どのような情報を入手すべきかを、実際に自分が希望する業界、企業について調べる力を身につける。 ②エントリーシートの書き方、面接のポイントを指摘し、実際の面接のロールプレイングをして、就職活動を強く意識させる。							
教育の進め方	基本的にはシラバスに従って進めるが、時期によって学校行事に伴った内容変更も実施する。							
回数	教 育 内 容							
16	就活を始めよう～Change the View～							
17	人は何故仕事をするの？～人は何故仕事をしなければならないのか？を考える							
18	業界研究～業界研究とは何をするのか？を学ぶ							
19	会社研究～就職活動の際の「志望動機」を描くために何を研究するのかを学ぶ							
20	ビジネス体験～企画を立ててみる～グループでビジネスプランを考えてプレゼンテーション							
21	自己分析①～自分の未来を考える/ビジョンを描くことの大切さを学ぶ							
22	自己分析②～今までの自分の経験や価値観を振り返る							
23	情報発信力を磨く～自分の意見を発信するためのトレーニングを行う							
24	エントリーシートにチャレンジ①～企業の選考書類であるエントリーシートとは何か？そのポイントを学ぶ							
25	エントリーシートにチャレンジ②～基本的な設問意外での問いのパターンを知り、自分ならどのように答えるか？を考える							
26	グループディスカッション～グループディスカッションのパターンと取り組み方を学ぶ							
27	面接①～面接のパターンを学ぶ							
28	面接②～面接での対話を想定して「伝える内容」を考え、模擬面接を実施							
29	後期まとめ							
30	後期試験							
教 材	書籍名	特になし。レジュメや配布資料をもとに授業を行う。						
	器材							
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。							
授業以外の学習方法								

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	コースデザイン			単位数	授業の種類	講師名			
				4	講義・演習・実習	川端 土筆			
授業回数	30	時間数	60	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期	必修・選択	必修
目 的	コースデザインのステップの習得と作成								
到 達 基 準	日本語教育能力検定試験合格レベル								
教育の 進め方									
回数	教 育 内 容								
1	前期授業内容ガイダンス								
2	コース・デザイン 一覧の流れ① コース・デザイン、授業計画								
3	コース・デザイン 一覧の流れ② 授業実施・評価								
4	アンケート ニーズ調査・ニーズ分析								
5	アンケート レディネス調査① 外的条件								
6	アンケート レディネス調査② 内的条件								
7	アンケート レディネス調査③ プレースメント・テスト								
8	アンケート アンケートを実施する① アンケートの作成								
9	アンケート アンケートを実施する② 作成したアンケートの実施計画								
10	アンケート アンケートを実施する③ 実施したアンケートの集計・分析								
11	カリキュラム・デザイン 到達目標・時間割								
12	カリキュラム・デザイン シラバスの配列・教授法								
13	カリキュラム・デザイン 教材・教具・教員								
14	前期まとめ/試験対策								
15	前期試験								
教 材	書籍名	『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』							
	器 材								
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								
授業以外の学習方法									

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	コースデザイン			単位数	授業の種類	講師名			
				4	講義・演習・実習	川端 土筆			
授業回数	30	時間数	60	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期	必修・選択	必修
目 的	コースデザインのステップの習得と作成								
到 達 基 準	日本語教育能力検定試験合格レベル								
教育の 進め方									
16	前期復習/後期授業内容ガイダンス								
17	シラバス・デザイン 必要な調査								
18	シラバスの分類と作成 決定時期による分類① 先行シラバス・後行シラバス								
19	シラバスの分類と作成 決定時期による分類② プロセス・シラバス								
20	シラバスの分類と作成 構成方法による分類① 構造シラバス								
21	シラバスの分類と作成 構成方法による分類② 場面シラバス								
22	シラバスの分類と作成 構成方法による分類③ 機能シラバス								
23	シラバスの分類と作成 構成方法による分類④ 話題シラバス								
24	シラバスの分類と作成 構成方法による分類⑤ 技能シラバス								
25	シラバスの分類と作成 構成方法による分類⑥ 課題シラバス								
26	シラバスの分類と作成 項目の配列による分類① シラバス・インベントリー								
27	シラバスの分類と作成 項目の配列による分類② コース・シラバス								
28	コースの評価 コース・デザインの改善								
29	総まとめ/試験対策								
30	後期試験								
教 材	書 籍 名	『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』							
	器 材								
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								
授業以外の学習方法									

# 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	英 語			単位数	授業の種類		講師名		
				4	講義・ <b>演習</b> ・実習	吉田 隼一郎			
授業回数	30	時間数	60	配当学年	3	時期	通年・ <b>前期</b> ・中期・後期	必修・選択	必修
目 的	英語の発音と文法の基礎から英語の土台をつくり、TOEICに対応できる英語力をつける。								
到 達 基 準	TOEIC目標600点以上。								
教育の進め方	基礎学習とTOEIC形式の問題を何度も反復練習する。								
回数	教 育 内 容								
1	オリエンテーション：Let's Talk ①発音：Learn the sound of English / TOEIC：1. Recall：リコール								
2	Let's Talk ②あいさつ / TOEIC：2. Telephone Directions：電話での道案内								
3	Let's Talk ③スピーチ：自己紹介 / TOEIC：3. Taxi Chase：タクシーチェイス								
4	Let's Talk ④Be動詞 * 「何がどうした」を覚える。 / TOEIC：4. Returns and Refunds：返品と返金								
5	Let's Talk ⑤動詞 do, does, did / TOEIC：5. At a Ballgame：野球場で								
6	Let's Talk ⑥誰のもの？：mineなど / TOEIC：6. Guest Speaker：ゲストスピーカー								
7	Let's Talk ⑦何、どこ？ What, Where, When. etc / TOEIC：7. Seeing a Doctor：医者の診察を受ける								
8	Let's Talk ⑧できる？canだけでなくshould, mustなど / TOEIC：8. Hotel Reservations：ホテルの予約								
9	Let's Talk ⑨経験 Have you を使って話せるようにする。 / TOEIC 9. An Accident：事故								
10	Let's Talk ⑩It's を使おう！ / TOEIC：10. Overdue Books：返却期限の過ぎた本								
11	Let's Talk ⑪もし： If を使い英語を話せるようにする。 / TOEIC：11. Bus Ride：バスに乗る								
12	Let's Talk ⑫これから：I willやI'm going to / TOEIC：12. Meeting After work：仕事の後の集い								
13	Let's Talk ⑬ある、ない：There isやThere are / TOEIC：13. On a Train：電車で								
14	Let's Talk ⑭健康：体の具合。 / TOEIC：14. Lunch with a Friend：友人との昼食								
15	Let's Talk ⑮色：基本の色を英語で言えるようにする。 / TOEIC：15. At the Dentist's：歯科医で								
教 材	書籍名	LET'S TALK, はじめての新TOEIC、(TOEIC Bridge)							
	器材	必要に応じPCを使用							
評 価	授業態度 (10%) 試験成績 (60%) 課題 (30%)								
授業以外の学習方法	復習：自宅学習								

# 2019年度授業概要

## グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	英 語			単位数	授業の種類		講師名		
				4	講義・ <b>演習</b> ・実習	吉田 隼一郎			
授業回数	30	時間数	60	配当学年	3	時期	<b>通年</b> ・前期・中期・後期	必修・選択	必修
目 的	英語の発音と文法の基礎から英語の土台をつくり、TOEICに対応できる英語力をつける。								
到 達 基 準	TOEIC目標600点以上。								
教育の 進め方	基礎学習とTOEIC形式の問題を何度も反復練習する。								
回数	教 育 内 容								
16	Let's Talk ⑩数：1から1億までの英語を覚える。／TOEIC：16. Disappointing Play：期待はずれの劇								
17	Let's Talk ⑪食べ物：What's your favorite～? ／TOEIC：17. Rent Increase：家賃の値上げ								
18	Let's Talk ⑫曜日時間「何時ですか？」に答えられる。／TOEIC：18. At a Concert：コンサートで								
19	Let's Talk ⑬天気：天気について英語で会話できるように ／TOEIC：19. On a Cruise：クルーズで								
20	Let's Talk ⑭リーディング：5つの練習。／TOEIC：20. Renting a Car レンタカーを借りる								
21	Let's Talk ⑮つかえるフレーズ ／TOEIC：21. Getting Some Exercise：エクササイズをする								
22	Let's Talk する、される：受身の英語を練習。 ／TOEIC：22. Telephones Old and New 電話の今と昔								
23	Let's Talk 動詞のパターン： ／TOEIC： 23. A Proud Father：誇らしげな父親								
24	TOEIC：24. Warehouse Superstore：ウエアハウススーパーストア ／TOEIC実践模試：パート1、2								
25	TOEIC：25. Actors in Politics：政界に進出する役者 ／TOEIC実践模試：パート3								
26	TOEIC：26. Laundry Detergent：洗濯用洗剤 ／TOEIC実践模試：パート4								
27	TOEIC：27. Tips for a Day Hike：日帰りハイキングのヒント ／TOEIC実践模試：パート5								
28	TOEIC：28. Wine Tasting：ワインのテイスティング ／TOEIC実践模試：パート6								
29	TOEIC：29. Learning a Language：語学学習 ／TOEIC実践模試：パート7								
30	TOEIC：30. Tax-free Shopping 免税での買い物								
教 材	書 籍 名	LET'S TALK, はじめての新TOEIC、(TOEIC Bridge)							
	器 材	必要に応じPCを使用							
評 価	授業態度 (10%) 試験成績 (60%) 課題 (30%)								
授業以外の学習方法	復習：自宅学習								

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	教育心理学			単位数	授業の種類		講師名	
				4	講義・演習・実習		川端 土筆	
授業回数	30	時間数	60	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期	
							必修・選択	必修
目 的	教育における心理学の概要を押さえる。							
到 達 基 準	日本語教育能力検定試験合格レベル							
教育の 進め方								
回数	教 育 内 容							
1	前期授業内容ガイダンス							
2	言語知識の獲得 記憶1 二重貯蔵モデル							
3	言語知識の獲得 記憶2 ワーキングメモリ							
4	言語知識の獲得 明示的知識と暗示的知識							
5	言語理解の課程 トップダウン処理とボトムアップ処理							
6	章まとめ 言語知識の獲得/言語理解の課程							
7	第一言語習得 第一言語習得とは							
8	第一言語習得 第一言語習得のメカニズム1 言語生得説							
9	第一言語習得 第一言語習得のメカニズム2 行動主義心理学							
10	第一言語習得研究 行動主義学習理論							
11	第一言語習得研究 原理とパラメーターのアプローチ							
12	第一言語習得研究 トマセロの言語獲得モデル							
13	章まとめ 第一言語習得/第一言語習得研究							
14	前期まとめ/定期試験対策							
15	前期試験							
教 材	書 籍 名	『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』						
	器 材							
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。							
授業以外の学習方法								

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	教育心理学			単位数	授業の種類		講師名			
				4	講義・演習・実習		川端 土筆			
授業回数	30	時間数	60	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期		必修・選択	必修
目 的	教育における心理学の概要を押さえる。									
到 達 基 準	日本語教育能力検定試験合格レベル									
教育の 進め方										
回数	教 育 内 容									
16	前期復習/後期授業内容ガイダンス									
17	バイリンガリズム バイリンガリズムとは									
18	バイリンガルの側面とその分類 言語能力と言語熟達度									
19	バイリンガルの側面とその分類 言語使用と言語機能									
20	バイリンガルの側面とその分類 言語習得時期									
21	バイリンガルの側面とその分類 文化習得									
22	バイリンガリズムにおける認知理論 風船説と冰山説									
23	バイリンガリズムにおける認知理論 敷居理論									
24	バイリンガリズムにおける認知理論 発達相互依存仮説									
25	バイリンガル教育の種類と成果 消極的なバイリンガル教育									
26	バイリンガル教育の種類と成果 積極的なバイリンガル教育									
27	日本におけるバイリンガル教育 日本語指導が必要な児童生徒への指導および課題									
28	日本におけるバイリンガル教育 学校教育における日本語指導のあり方									
29	総まとめ/試験対策									
30	後期試験									
教 材	書 籍 名	『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』								
	器 材									
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。									
授業以外の学習方法										

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	比較言語学			単位数	授業の種類		講師名			
				2	講義・演習・実習		川端 土筆			
授業回数	15	時間数	30	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期		必修・選択	必修
目 的	各言語の音韻や文字体系などを通時的に比較し、その相違点を明らかにする。									
到 達 基 準	日本語教育能力検定試験合格レベル									
教育の 進め方										
回数	教 育 内 容									
1	授業内容ガイダンス									
2	対象言語学と言語教育									
3	言語類型論 二つの観点から見た言語タイプ									
4	言語類型論 主要部と補足部の関係									
5	言語の系統(語族・語派) 1 インド・ヨーロッパ語族									
6	言語の系統(語族・語派) 2 アフロ・アジア語族/ウラル・アルタイ語族									
7	言語の系統(語族・語派) 3 シナ・チベット語族									
8	言語の系統(語族・語派) 4 オーストロ・アジア語族/オーストロネシア語族									
9	言語の系統(語族・語派) 5 その他の語族									
10	言語の系統(語族・語派) 6 日本語の系統									
11	対象言語学 1 音声・音韻的相違									
12	対象言語学 2 形態的相違/統語的相違									
13	対象言語学 3 意味的相違									
14	総まとめ・試験対策									
15	定期試験									
教 材	書籍名	『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』								
	器材									
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。									
授業以外の学習方法										

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	日本文化研究			単位数	授業の種類		講師名	
				4	講義・演習・実習		川端 土筆	
授業回数	30	時間数	60	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期	
							必修・選択	必修
目 的	前期：文章作成に必要な知識、小論文作成の方法を学ぶ 後期：日本文化を様々な観点から比較考察し、小論文を作成する。							
到 達 基 準	日本語教育能力検定試験合格レベル							
教育の 進め方	プレゼンテーションを行って、リサーチの成果を図る。							
回数	教 育 内 容							
1	前期授業内容ガイダンス							
2	文章構成を考える 問題文を正確に理解する							
3	文章構成を考える 自分の意見と根拠を明確にする							
4	文章構成を考える 自分の意見の限界を認識する							
5	文章構成を考える 構成を決め、執筆する							
6	文章構成を考える 文章を作成し、推敲する							
7	正確かつ分かりやすい言葉で書く できるだけ短く書く							
8	正確かつ分かりやすい言葉で書く 分かりにくさのメカニズム							
9	論理的に書くために 論点を整理する							
10	論理的に書くために 誤った前提や論理の飛躍に注意する							
11	論理的に書くために 論理関係を示す接続詞							
12	日本語教育能力検定試験対策 情報収集							
13	日本語教育能力検定試験対策 解答時にすべきこと							
14	前期まとめ/前期試験対策							
15	前期試験							
教 材	書籍名	『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』 参考図書『日本語教育能力検定試験 合格するための問題集』						
	器 材							
評 価	学年末において、前期末に行う試験、小論文の提出、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。							
授業以外の学習方法								

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	日本文化研究			単位数	授業の種類		講師名	
				4	講義・演習・実習		川端 土筆	
授業回数	30	時間数	60	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期	
必修・選択	必修							
目 的	前期：文章作成能力を高め、小論文の作成方法を学ぶ 後期：日本文化を様々な観点から比較考察し、小論文を作成する。							
到 達 準	日本語教育能力検定試験合格レベル							
教育の 進め方	プレゼンテーションを行って、リサーチの成果を図る。							
回数	教 育 内 容							
16	後期授業内容ガイダンス							
17	小論文作成「着物・ゆかた」① 情報収集・初期作成							
18	小論文作成「着物・ゆかた」② 全体討論・修正・提出							
19	小論文作成「正月とおせち」① 情報収集・初期作成							
20	小論文作成「正月とおせち」② 全体討論・修正・提出							
21	小論文作成「増える残業」① 情報収集・初期作成							
22	小論文作成「増える残業」② 全体討論・修正・提出							
23	小論文作成「日本社会の中での方言」① 情報収集・初期作成							
24	小論文作成「日本社会の中での方言」② 全体討論・修正・提出							
25	小論文作成「日本語の乱れ」① 情報収集・初期作成							
26	小論文作成「日本語の乱れ」② 全体討論・修正・提出							
27	小論文作成「規範と異なる表記」① 情報収集・初期作成							
28	小論文作成「規範と異なる表記」② 全体討論・修正・提出							
29	小論文作成「どのような教師を目指していくのか」① 情報収集・初期作成							
30	小論文作成「どのような教師を目指していくのか」② 全体討論・修正・提出							
教 材	書籍名	『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』 参考図書『日本語教育能力検定試験 合格するための問題集』						
	器 材							
評 価	学年末において、前期末に行う試験、小論文の提出、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。							
授業以外の学習方法								

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	教授法演習				単位数	授業の種類		講師名		
					8	講義 (演習)・実習		川端 土筆		
授業回数	60	時間数	120	配当学年	3	時期	(通年) 前期・中期・後期		必修・選択	必修
目 的	教授法で学んだ授業の流れをもとに、自身で模擬授業の教案作成を行っていく。									
到 達 基 準	授業計画→教案作成→教具準備→授業の流れを理解し、授業分析を行うことが出来る。									
教育の進め方	日本語学校で留学生に授業を行ってきた経験を基に、教案の書き方、ことば・文法の導入は例を画像で示しながら比較するなどの作業や実際にその場面を想定できる想像力も養いながら指導する。									
回数	教 育 内 容									
1	授業内容ガイダンス									
2	目標の設定 到達目標レベルと学習内容の決定									
3	教科書の構成と内容を読み解く 本作業① 読み物									
4	教科書の構成と内容を読み解く 本作業② 会話文									
5	教科書の構成と内容を読み解く 本作業③ 会話練習									
6	教科書の構成と内容を読み解く 後作業① プロジェクト									
7	教科書の構成と内容を読み解く 後作業② 発展練習									
8	初級教科書から中級・上級教科書への移行 移行するための前準備									
9	初級教科書から中級・上級教科書への移行 教師が知っておくべきこと									
10	初級教科書から中級・上級教科書への移行 学習者へ説明しておくべきこと									
11	教科書を使った授業と指導法 アプローチ									
12	教科書を使った授業と指導法 各学習活動の指導法① 読解・語彙・文法・漢字									
13	教科書を使った授業と指導法 各学習活動の指導法② ディスカッション・発表									
14	教科書を使った授業と指導法 各学習活動の指導法③ 読み物・会話文・例文の利用									
15	教案作成復習・模擬授業概要説明									
教 材	書籍名	教科書『コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語 上級へのとびら』 参考図書『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』/『中級日本語を教える教師の手引き』								
	器材									
評 価	学年末において、模擬授業における教案提出、模擬授業評価シート、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。									
授業以外の学習方法										

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	教授法演習				単位数	授業の種類		講師名		
					8	講義・ <b>演習</b> ・実習		川端 土筆		
授業回数	60	時間数	120	配当学年	3	時期	<b>通年</b> ・前期・中期・後期		必修・選択	必修
目 的	実際の授業計画を作成する。									
到 達 基 準	日本語教育能力検定試験合格レベル									
教育の進め方	日本語学校で留学生に授業を行ってきた経験を基に、教案の書き方、ことば・文法の導入は例を画像で示しながら比較するなどの作業や実際にその場面を想定できる想像力も養いながら指導する。									
回数	教 育 内 容									
16	模擬授業『第1課 日本の地理』 教案作成									
17	模擬授業『第1課 日本の地理』 教具の準備・シミュレーション									
18	模擬授業『第1課 日本の地理』 模擬授業実施/自己評価・他者評価									
19	模擬授業『第2課 日本語のスピーチスタイル』 教案作成									
20	模擬授業『第2課 日本語のスピーチスタイル』 教具の準備・シミュレーション									
21	模擬授業『第2課 日本語のスピーチスタイル』 模擬授業実施/自己評価・他者評価									
22	模擬授業『第3課 日本のテクノロジー』 教案作成									
23	模擬授業『第3課 日本のテクノロジー』 教具の準備・シミュレーション									
24	模擬授業『第3課 日本のテクノロジー』 模擬授業実施/自己評価・他者評価									
25	模擬授業『第4課 日本のスポーツ』 教案作成									
26	模擬授業『第4課 日本のスポーツ』 教具の準備・シミュレーション									
27	模擬授業『第4課 日本のスポーツ』 模擬授業実施/自己評価・他者評価									
28	模擬授業『第5課 日本の食べ物』 教案作成									
29	模擬授業『第5課 日本の食べ物』 教具の準備・シミュレーション									
30	模擬授業『第5課 日本の食べ物』 模擬授業実施/自己評価・他者評価									
教 材	書 籍 名	教科書『コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語 上級へのとびら』 参考図書『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』/『中級日本語を教える教師の手引き』								
	器 材									
評 価	学年末において、模擬授業における教案提出、模擬授業評価シート、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。									
授業以外の学習方法										

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	教授法演習				単位数	授業の種類		講師名			
					4	講義 <b>演習</b> ・実習		川端 土筆			
授業回数	60	時間数	120	配当学年	3	時期	<b>通年</b> ・前期・中期・後期		必修・選択	必修	
目 的	実際の授業計画を作成する。										
到 達 基 準	日本語教育能力検定試験合格レベル										
教育の 進め方	日本語学校で留学生に授業を行ってきた経験を基に、教案の書き方、ことば・文法の導入は例を画像で示しながら比較するなどの作業や実際にその場面を想定できる想像力も養いながら指導する。										
回数	教 育 内 容										
31	模擬授業『第6課 日本人と宗教』				教案作成						
32	模擬授業『第6課 日本人と宗教』				教具の準備・シミュレーション						
33	模擬授業『第6課 日本人と宗教』				模擬授業実施/自己評価・他者評価						
34	模擬授業『第7課 日本のポップカルチャー』				教案作成						
35	模擬授業『第7課 日本のポップカルチャー』				教具の準備・シミュレーション						
36	模擬授業『第7課 日本のポップカルチャー』				模擬授業実施/自己評価・他者評価						
37	模擬授業『第8課 日本の伝統芸能』				教案作成						
38	模擬授業『第8課 日本の伝統芸能』				教具の準備・シミュレーション						
39	模擬授業『第8課 日本の伝統芸能』				模擬授業実施/自己評価・他者評価						
40	模擬授業『第9課 日本の教育』				教案作成						
41	模擬授業『第9課 日本の教育』				教具の準備・シミュレーション						
42	模擬授業『第9課 日本の教育』				模擬授業実施/自己評価・他者評価						
43	模擬授業『第10課 日本の便利な店』				教案作成						
44	模擬授業『第10課 日本の便利な店』				教具の準備・シミュレーション						
45	模擬授業『第10課 日本の便利な店』				模擬授業実施/自己評価・他者評価						
教 材	書 籍 名	教科書『コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語 上級へのとびら』 参考図書『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』/『中級日本語を教える教師の手引き』									
	器 材										
評 価	学年末において、模擬授業における教案提出、模擬授業評価シート、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。										
授業以外の学習方法											

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	教授法演習			単位数	授業の種類		講師名	
				4	講義・ <b>演習</b> ・実習		川端 土筆	
授業回数	60	時間数	120	配当学年	3	時期	<b>通年</b> ・前期・中期・後期	
必修・選択	必修							
目 的	実際の授業計画を作成する。							
到 達 基 準	日本語教育能力検定試験合格レベル							
教育の 進め方	日本語学校で留学生に授業を行ってきた経験を基に、教案の書き方、ことば・文法の導入は例を画像で示しながら比較するなどの作業や実際にその場面を想定できる想像力も養いながら指導する。							
回数	教 育 内 容							
46	模擬授業『第1 1 課 日本の歴史』			教案作成				
47	模擬授業『第1 1 課 日本の歴史』			教具の準備・シミュレーション				
48	模擬授業『第1 1 課 日本の歴史』			模擬授業実施/自己評価・他者評価				
49	模擬授業『第1 2 課 日本の伝統工芸』			教案作成				
50	模擬授業『第1 2 課 日本の伝統工芸』			教具の準備・シミュレーション				
51	模擬授業『第1 2 課 日本の伝統工芸』			模擬授業実施/自己評価・他者評価				
52	模擬授業『第1 3 課 日本人と自然』			教案作成				
53	模擬授業『第1 3 課 日本人と自然』			教具の準備・シミュレーション				
54	模擬授業『第1 3 課 日本人と自然』			模擬授業実施/自己評価・他者評価				
55	模擬授業『第1 4 課 日本の政治』			教案作成				
56	模擬授業『第1 4 課 日本の政治』			教具の準備・シミュレーション				
57	模擬授業『第1 4 課 日本の政治』			模擬授業実施/自己評価・他者評価				
58	模擬授業『第1 5 課 世界と私の国の未来』			教案作成				
59	模擬授業『第1 5 課 世界と私の国の未来』			教具の準備・シミュレーション				
60	模擬授業『第1 5 課 世界と私の国の未来』			模擬授業実施/自己評価・他者評価				
教 材	書 籍 名	教科書『コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語 上級へのとびら』 参考図書『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』/『中級日本語を教える教師の手引き』						
	器 材							
評 価	学年末において、模擬授業における教案提出、模擬授業評価シート、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。							
授業以外の学習方法								

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	授 業 法			単 位 数	授 業 の 種 類	講 師 名				
				6	講義・演習・実習	川 端 土 筆				
授 業 回 数	45	時 間 数	90	配 当 学 年	3	時 期	通年	前 期 ・ 中 期 ・ 後 期	必 修 ・ 選 択	必 修
目 的	外国語教育において、これまでに研究されてきた教授法を概観する。									
到 達 基 準	日本語教育能力検定試験合格レベル									
教 育 の 進 め 方	日本語学校で留学生に授業を行ってきた経験を基に、教案の書き方、ことば・文法の導入は例を画像で示しながら比較するなどの作業や実際にその場面を想定できる想像力も養いながら指導する。									
回 数	教 育 内 容									
1	授業内容ガイダンス									
2	対象者別の指導法 留学生への指導法① 国公立大学									
3	対象者別の指導法 留学生への指導法② 日本語学校									
4	対象者別の指導法 児童・生徒① 小・中学生									
5	対象者別の指導法 児童・生徒② 高校生									
6	対象者別の指導法 生活者① 日本人配偶者									
7	対象者別の指導法 生活者② ビジネスパーソン									
8	章まとめ 対象者別の指導法									
9	教育レベルでの指導法 初級・中級・上級の違い									
10	教育レベルでの指導法 初級レベルの指導									
11	教育レベルでの指導法 中級レベルの指導									
12	教育レベルでの指導法 上級レベルの指導									
13	章まとめ 教育レベルでの指導法									
14	言語技能の指導 初級① 聞く・話す									
15	言語技能の指導 初級② 読む・書く									
教 材	書 籍 名	『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』								
	器 材									
評 価	学年末において、後期末に行う試験、章終了時に行う小テスト、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。									
授業以外の学習方法										

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	授 業 法			単 位 数	授 業 の 種 類	講 師 名				
				6	講義・演習・実習	川 端 土 筆				
授 業 回 数	45	時 間 数	90	配 当 学 年	3	時 期	通年	前 期 ・ 中 期 ・ 後 期	必 修 ・ 選 択	必 修
目 的	外国語教育において、これまでに研究されてきた教授法を概観する。									
到 達 準 準	日本語教育能力検定試験合格レベル									
教 育 の 進 め 方	日本語学校で留学生に授業を行ってきた経験を基に、教案の書き方、ことば・文法の導入は例を画像で示しながら比較するなどの作業や実際にその場面を想定できる想像力も養いながら指導する。									
16	言語技能の指導 中級① 聞く・話す									
17	言語技能の指導 中級② 読む・書く									
18	言語技能の指導 上級① 聞く・話す									
19	言語技能の指導 上級② 読む・書く									
20	章まとめ 言語技能の指導									
21	技能別言語運用の指導 産出・受容									
22	技能別言語運用の指導 話す技能の指導(産出)① 独話活動・対話活動									
23	技能別言語運用の指導 話す技能の指導(産出)② その他の技能指導									
24	技能別言語運用の指導 書く技能の指導(産出)① 初級レベルの指導									
25	技能別言語運用の指導 書く技能の指導(産出)② 中級レベルの指導									
26	技能別言語運用の指導 書く技能の指導(産出)③ 上級レベルの指導									
27	章まとめ 技能別言語運用の指導 産出									
28	技能別言語運用の指導 聞く技能の指導(受容)① ボトムアップ処理									
29	技能別言語運用の指導 聞く技能の指導(受容)② トップダウン処理									
30	技能別言語運用の指導 聞く技能の指導(受容)③ 相互交流モデル									
教 材	書 籍 名	『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』								
	器 材									
評 価	学年末において、後期末に行う試験、章終了時に行う小テスト、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。									
授業以外の学習方法										

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	教授法			単位数	授業の種類		講師名			
				6	講義・演習・実習		川端 土筆			
授業回数	45	時間数	90	配当学年	3	時期	通年	前期・中期・後期	必修・選択	必修
目 的	外国語教育において、これまでに研究されてきた教授法を概観する。									
到 達 基 準	日本語教育能力検定試験合格レベル									
教育の 進め方	日本語学校で留学生に授業を行ってきた経験を基に、教案の書き方、ことば・文法の導入は例を画像で示しながら比較するなどの作業や実際にその場面を想定できる想像力も養いながら指導する。									
31	技能別言語運用の指導 読む技能の指導(受容)① トップダウン方式									
32	技能別言語運用の指導 読む技能の指導(受容)② ボトムアップ方式									
33	技能別言語運用の指導 読む技能の指導(受容)③ 相互交流モデル									
34	章まとめ 技能別言語運用の指導 受容									
35	指導技術 教師の話し方① クローズド・クエスチョン									
36	指導技術 教師の話し方② オープン・クエスチョン									
37	指導技術 教師の話し方③ ディスプレイ・クエスチョン									
38	指導技術 教師の話し方④ レファレンシャル・クエスチョン									
39	指導技術 授業中の提示① 板書									
40	指導技術 授業中の提示② 板書以外の提示									
41	指導技術 非言語面のテクニック									
42	章まとめ 指導技術									
43	総まとめ① 対象者別の指導法・教育レベルでの指導法・言語技能の指導/試験対策									
44	総まとめ② 技能別言語運用の指導・指導技術/試験対策									
45	定期試験									
教 材		書 籍 名	『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』							
教 材		器 材								
評 価		学年末において、後期末に行う試験、章終了時に行う小テスト、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								
授業以外の学習方法										

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	教材研究・分析			単位数	授業の種類		講師名			
				4	講義・演習・実習		川端 土筆			
授業回数	30	時間数	60	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期		必修・選択	必修
目 的	教材の分類と作成									
到 達 基 準	日本語教育能力検定試験合格レベル									
教育の 進め方	学習者が見て考えてすぐに反応できる絵カード、画像、レアリアやストーリー性のある動画などを経験を活かし客観的な視野を持つように指導する									
回数	教 育 内 容									
1	前期授業内容ガイダンス									
2	教材・教具 主教材									
3	教材・教具 副教材									
4	教材・教具 教具									
5	教材・教具 ニーズに合わせた教材の選定									
6	教材分析の観点 対象レベル									
7	教材分析の観点 中心となるシラバス									
8	教材分析の観点 教授法や教室活動の組み合わせ									
9	教材分析の観点 付属教材・表記方法									
10	教材分析の観点 内容・実用性									
11	日本語教材の開発 オリジナルの教材を作る①									
12	日本語教材の開発 オリジナルの教材を作る②									
13	日本語教材の開発 オリジナルの教材を作る③									
14	前期まとめ/試験対策									
15	前期試験									
教 材	書 籍 名	『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』								
	器 材									
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。									
授業以外の学習方法										

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	教材研究・分析			単位数	授業の種類		講師名			
				4	講義・演習・実習		川端 土筆			
授業回数	30	時間数	60	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期		必修・選択	必修
目 的	教材の分類と作成									
到 達 基 準	日本語教育能力検定試験合格レベル									
教育の 進め方	学習者が見て考えてすぐに反応できる絵カード、画像、レアリアやストーリー性のある動画などを経験を活かし客観的な視野を持つように指導する									
16	前期復習/後期授業内容ガイダンス									
17	教育・学習リソースと情報リテラシー 物的リソース									
18	教育・学習リソースと情報リテラシー 人的リソース									
19	教育・学習リソースと情報リテラシー 社会的リソース									
20	教育・学習とコンピュータ コーパス① 日本語話し言葉コーパス									
21	教育・学習とコンピュータ コーパス② BCCWJ									
22	教育・学習とコンピュータ 日本語教材サイト① みんなの教材サイト									
23	教育・学習とコンピュータ 日本語教材サイト② かすたねっと									
24	教育・学習とコンピュータ コンピュータを使用した教材									
25	教育・学習とコンピュータ 知的財産権									
26	日本語教材の開発 オリジナルの教材を作る④									
27	日本語教材の開発 オリジナルの教材を作る⑤									
28	日本語教材の開発 オリジナルの教材を作る⑥									
29	総まとめ/試験対策									
30	後期試験									
教 材	書 籍 名	『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』								
	器 材									
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。									
授業以外の学習方法										

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	MOS対策Ⅲ			単位数	授業の種類	講師名			
				8	講義・ <b>演習</b> ・実習	桑元 啓太			
授業回数	60	時間数	120	配当学年	3	時期	<b>通年</b> ・前期・中期・後期	必修・選択	必修
目 的	就職先の企業では、業務遂行に表計算ソフトを作成・文章作成をすることが多く、即戦力となるようにExcel・Powerpointについて理解する								
到 達 基 準	Word・Powerpointの使い方をマスター MOS検定の合格								
教育の進め方	パソコンの使い方の説明から、タイピングレッスン、表の作成を通じて基本業務の理解させる、Excelの復習								
回数	教 育 内 容								
1	3年次の到達目標説明、検定模擬問題実施								
2	復習 IF関数1（関数ドリル、E-64 条件の判断）								
3	復習 ROUND関数1								
4	復習 ROUND関数2								
5	復習 RANK関数								
6	復習 データの並べ替え								
7	復習 構成比率								
8	復習 VLOOKUP関数1								
9	復習 VLOOKUP関数2								
10	復習 VLOOKUP関数3								
11	復習 グラフの作成1（E-30～35）								
12	復習 グラフの作成2（E-30～35）								
13	復習 グラフの作成3								
14	復習 IF関数2（関数ドリル、E-65 複数の条件の判断）								
15	復習 IF関数3（関数ドリル 入れ子）								
教 材	書籍名	プリント							
	器材	P C							
評 価	出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し評価とする。								
授業以外の学習方法									

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 科 目	MOS対策Ⅲ			単位数	授業の種類	講師名			
				8	講義・ <b>演習</b> ・実習	桑元 啓太			
授業回数	60	時間数	120	配当学年	3	時期	(通年)・前期・中期・後期	必修・選択	必修
目 的	就職先の企業では、業務遂行に表計算ソフトを作成・文章作成をすることが多く、即戦力となるようにExcel・Powerpointについて理解する								
到 達 基 準	Word・Powerpointの使い方をマスター MOS検定の合格								
教育の進め方	パソコンの使い方の説明から、タイピングレッスン、表の作成を通じて基本業務の理解させる、Excelの復習								
回数	教 育 内 容								
16	復習 I F 関数 4								
17	復習 セル証明 (表示形式の変更)								
18	MOS検定問題① 実施								
19	MOS検定問題① 解説								
20	MOS検定問題② 実施								
21	MOS検定問題② 解説								
22	MOS検定問題③ 実施								
23	MOS検定問題④ 実施・解説								
24	イメージの使い方① イメージの使い方について説明								
25	イメージの使い方② イメージの使い方について説明								
26	動画の使い方① 動画の使い方について説明								
27	動画の使い方② 動画の使い方について説明								
28	テーマについて① テーマの使い方 インターネットからダウンロード等								
29	テーマについて② テーマの使い方 インターネットからダウンロード等								
30	著作権について① イメージや映像の流用時の使い方について								
教 材	書籍名	プリント							
	器材	P C							
評 価	出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し評価とする。								
授業以外の学習方法									

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	MOS対策Ⅲ			単位数	授業の種類	講師名			
				8	講義・ <b>演習</b> ・実習	桑元 啓太			
授業回数	60	時間数	120	配当学年	3	時期	<b>通年</b> ・前期・中期・後期	必修・選択	必修
目 的	就職先の企業では、業務遂行に表計算ソフトを作成・文章作成をすることが多く、即戦力となるようにExcel・Powerpointについて理解する								
到 達 基 準	Word・Powerpointの使い方をマスター MOS検定の合格								
教育の進め方	パソコンの使い方の説明から、タイピングレッスン、表の作成を通じて基本業務の理解させる、Excelの復習								
回数	教 育 内 容								
31	著作権について② イメージや映像の流用時の使い方について								
32	3分スピーチ① 3分で1枚の絵の説明を行う練習								
33	3分スピーチ② 3分で1枚の絵の説明を行う練習								
34	3分スピーチ③ 3分で1枚の絵の説明を行う練習								
35	MOS検定問題⑤ 実施								
36	MOS検定問題⑤ 解説								
37	MOS検定問題⑥ 実施								
38	MOS検定問題⑥ 解説								
39	MOS検定問題⑦ 実施								
40	MOS検定問題⑦ 実施								
41	MOS検定問題⑦ 解説								
42	MOS検定問題⑧ 実施								
43	MOS検定問題⑧ 解説								
44	MOS検定問題⑨ 実施								
45	MOS検定問題⑨ 実施								
教 材	書籍名	プリント							
	器材	P C							
評 価	出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し評価とする。								
授業以外の学習方法									

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 科 目	MOS対策Ⅲ			単位数	授業の種類	講師名			
				8	講義・演習・実習	桑元 啓太			
授業回数	60	時間数	120	配当学年	3	時期	(通年)・前期・中期・後期	必修・選択	必修
目 的	就職先の企業では、業務遂行に表計算ソフトを作成・文章作成をすることが多く、即戦力となるようにExcel・Powerpointについて理解する								
到 達 基 準	Word・Powerpointの使い方をマスター MOS検定の合格								
教育の進め方	パソコンの使い方の説明から、タイピングレッスン、表の作成を通じて基本業務の理解させる、Excelの復習								
回数	教 育 内 容								
46	MOS検定問題⑨ 解説								
47	MOS検定問題⑩ 実施								
48	MOS検定問題⑩ 解説								
49	MOS検定問題⑪ 実施								
50	MOS検定問題⑪ 実施								
51	MOS検定問題⑪ 解説								
52	MOS検定問題⑫ 実施								
53	MOS検定問題⑫ 解説								
54	MOS検定問題⑬ 実施								
55	MOS検定問題⑬ 解説								
56	MOS検定問題⑭ 実施								
57	MOS検定問題⑭ 解説								
58	MOS検定問題⑮ 実施								
59	MOS検定問題⑮ 解説								
60	総まとめ								
教 材	書籍名	プリント							
	器材	P C							
評 価	出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し評価とする。								
授業以外の学習方法									

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 科 目	日本語能力検定試験・ 日本語留学試験概説			単位数	授業の種類		講師名			
				2	講義・演習・実習		川端 土筆			
授業回数	15	時間数	30	配当学年	3	時期	通年・前期	中期・後期	必修・選択	必修
目 的	各検定試験問題の傾向分析									
到 達 基 準	日本語能力検定試験及び留学試験合格レベル									
教育の 進め方	日本語能力試験はN5からN1まで幅広く、過去問10年分を分析し応用の利く指導をする。留学試験はニュース・新聞・時事問題などで日本語総合科目や日本語に対応し、数学・化学の指導にも力を入れる									
回数	教 育 内 容									
1	授業内容ガイダンス									
2	日本語能力検定試験概説 N 5									
3	日本語能力検定試験概説 N 4									
4	日本語能力検定試験概説 N 3									
5	日本語能力検定試験概説 N 2									
6	日本語能力検定試験概説 N 1									
7	章まとめ 日本語能力検定試験									
8	日本語留学試験概説 日本語① 読解									
9	日本語留学試験概説 日本語② 聴解・聴読解									
10	日本語留学試験概説 日本語③ 記述									
11	日本語留学試験概説 総合科目									
12	日本語留学試験概説 理科									
13	日本語留学試験概説 数学									
14	章まとめ 日本語留学試験									
15	定期試験									
教 材	書 籍 名	『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』								
	器 材									
評 価	学年末において、前期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。									
授業以外の学習方法										

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	社会言語学			単位数	授業の種類		講師名			
				4	講義・演習・実習		川端 土筆			
授業回数	30	時間数	60	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期		必修・選択	必修
目 的	言語を規定する社会的要因について考察する。									
到 達 基 準	日本語教育能力検定試験合格レベル									
教育の 進め方										
回数	教 育 内 容									
1	授業内容ガイダンス									
2	コミュニケーション学 コミュニケーションの概念									
3	コミュニケーション学 コミュニケーションの方法									
4	言語・非言語行動 ノンバーバル・コミュニケーション									
5	言語・非言語行動 近接空間学									
6	言語・非言語行動 パラ言語学									
7	章まとめ コミュニケーション学/言語・非言語行動									
8	言語コミュニケーション コミュニケーション能力									
9	言語コミュニケーション コミュニケーション・ストラテジー									
10	異文化コミュニケーションと社会 異文化コミュニケーション									
11	異文化コミュニケーションと社会 異文化に触れる具体例									
12	異文化コミュニケーションと社会 アイデンティティ									
13	異文化コミュニケーションと社会 文化変容と社会									
14	章まとめ 異文化コミュニケーションと社会									
15	前期試験									
教 材	書 籍 名	『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』								
	器 材									
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。									
授業以外の学習方法										

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	社会言語学			単位数	授業の種類		講師名			
				2	講義・演習・実習					
授業回数	30	時間数	60	配当学年	3	時期	通年・前期・中期・後期		必修・選択	必修
目 的	言語を規定する社会的要因について考察する。									
到 達 基 準	日本語教育能力検定試験合格レベル									
教育の 進め方										
回数	教 育 内 容									
16	前期復習/後期授業内容ガイダンス									
17	言語変種 社会方言：ジェンダー									
18	言語変種 地域方言 1									
19	言語変種 地域方言 2									
20	言語接触 ピジンとクレオール									
21	言語接触 ダイグロシア									
22	章まとめ 言語接触									
23	言語の多様性 共通言語としての英語とその多様性									
24	言語の多様性 危機言語と言語的人権									
25	言語の多様性 日本語の多様化									
26	言語の多様性 やさしい日本語									
27	言語の多様性 ティーチャートーク、フォリナートーク、ベビートーク									
28	言語の多様性 待遇表現									
29	章まとめ 言語の多様性/試験対策									
30	後期試験									
教 材	書 籍 名	『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』								
	器 材									
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。									
授業以外の学習方法										

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	テスト・評価法			単位数	授業の種類	講師名				
				4	講義・演習・実習	川端 土筆				
授業回数	30	時間数	60	配当学年	3	時期	通年	前期・中期・後期	必修・選択	必修
目 的	評価方法の分類とテスト分析									
到 達 基 準	日本語教育能力検定試験合格レベル									
教育の 進め方	日本語学校で留学生に授業を行ってきた経験を基に、学習者の努力や進歩を評価できるよう点数のみならず、相対的、あるいは絶対的評価をし、テストだけではなくテスト以外の方法でも見極められるよう指導する。									
回数	教 育 内 容									
1	前期授業内容ガイダンス/評価概要									
2	評価の分類と方法 性格による評価									
3	評価の分類と方法 実施時期による評価① 診断的評価/形成的評価									
4	評価の分類と方法 実施時期による評価② 総括的評価/外在的評価									
5	評価の分類と方法 相対評価と絶対評価									
6	章まとめ 評価の分類と方法/試験対策									
7	テストの種類 用途別のテスト									
8	テストの種類 実施目的・結果の解釈別のテスト									
9	テストの種類 採点方法別のテスト									
10	章まとめ テストの種類/試験対策									
11	評価の手段 テストデザイン									
12	評価の手段 テストによる評価									
13	評価の手段 テストによらない評価									
14	章まとめ 評価の手段/試験対策									
15	前期試験									
教 材	書籍名	『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』								
	器材									
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。									
授業以外の学習方法										

## 2019年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

教 育 目 的	テスト・評価法			単位数	授業の種類	講師名				
				4	講義・演習・実習	川端 土筆				
授業回数	30	時間数	60	配当学年	3	時期	通年	前期・中期・後期	必修・選択	必修
目 的	評価方法の分類とテスト分析									
到 達 準 準	日本語教育能力検定試験合格レベル									
教育の 進め方	日本語学校で留学生に授業を行ってきた経験を基に、学習者の努力や進歩を評価できるよう点数のみならず、相対的、あるいは絶対的評価をし、テストだけではなくテスト以外の方法でも見極められるよう指導する。									
回数	教 育 内 容									
16	前期復習/後期授業内容ガイダンス									
17	よいテストの条件 妥当性									
18	よいテストの条件 信頼性									
19	よいテストの条件 有用性									
20	よいテストの条件 採点時の注意									
21	よいテストの条件 テスト理論① 古典的テスト理論									
22	よいテストの条件 テスト理論② 項目応答理論									
23	章まとめ よいテストの条件/試験対策									
24	テストの分析 得点の分析① ヒストグラム・度数分布図・度数分布曲線									
25	テストの分析 得点の分析② 平均値・中央値・最頻値									
26	テストの分析 得点の分析③ 標準偏差									
27	テストの分析 項目分析① 項目特性曲線									
28	テストの分析 項目分析② SP表									
29	章まとめ テストの分析/試験対策									
30	後期試験									
教 材	書籍名	『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』								
	器材									
評 価	学年末において、前期末・後期末に行う試験、出席状況、授業態度、履修状況等を総合的に勘案し、とする。									
授業以外の学習方法										